

2025年10月31日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

JAグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当組合では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成と万全な保障充足に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（JA共済連）が、共同で事業運営しております。

ちちぶ農業協同組合

I.取組状況

1 お客様への最適な金融商品、共済仕組み、サービスの提供

(1) 金融商品 【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- 安定的に運用する「コア」と、リスクをとって高いリターンを目指すの「サテライト」をバランスよく配置することで、過度なリスクを回避しながらリターンの積極的確保を目指す投資戦略で、お客さまの資産形成・運用ニーズに則した最適な商品を提案しております。
- なお、お客さまの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。

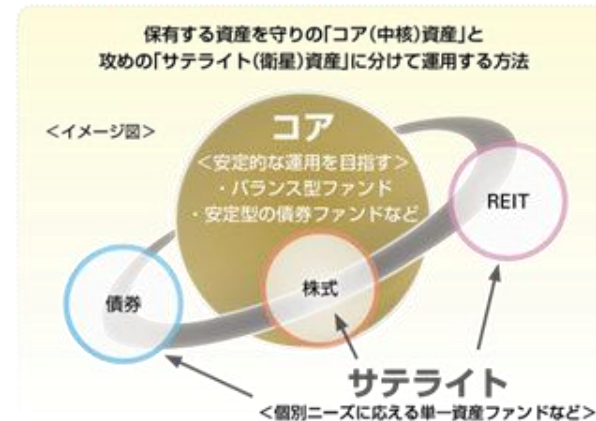
<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	6 (前年度末：6)
株式型	3 (前年度末：3)	5 (前年度末：5)
REIT型	2 (前年度末：2)	2 (前年度末：2)
バランス型	7 (前年度末：7)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<主な商品の運用方法>

⇒コア・サテライト戦略について



※商品選定の考え方：JAバンクHP

<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

I. 取組状況

1 お客様への最適な金融商品、共済仕組み、サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス 【原則2本文および（注）、原則6本文および（注2、3）、補充原則1～5本文および（注）】

- 当組合は、「相互扶助（助け合い）」を事業理念とし、組合員・利用者の皆さまが、生活や農業を取り巻く様々なリスクに対して、「ひと・いえ・くるまの総合保障」として「そなえる」「わたす」「のこす」といったお客さまの多様なニーズに応じて、安心して備えられるよう最良・最適な共済仕組み・サービスを提供しております。
- 特に、ご高齢者のお客さまに説明する際には、原則としてご家族に同席いただく等、お客さまに寄り添い、お客さまに【安心】と【信頼】を提供できるよう日々取り組んでおります。
- 当組合は、市場リスクを有する共済仕組み（外貨建て共済等）は提供は実施しておりません。
- 住宅価格の高騰により連帯債務の住宅ローン利用者が増加したことを受けて、団体信用生命共済において従来よりも手厚い保障が可能となる連生タイプの取扱を開始しております。
- J A 共済満足度調査において、総合満足度は「97.5%」と高い水準となっています。（令和7年7月末）
- なお、共済事業については、全共連と共同で事業運営を実施しており、お客さまの声や実際に販売した顧客情報等について相互に連携しております。

I.取組状況

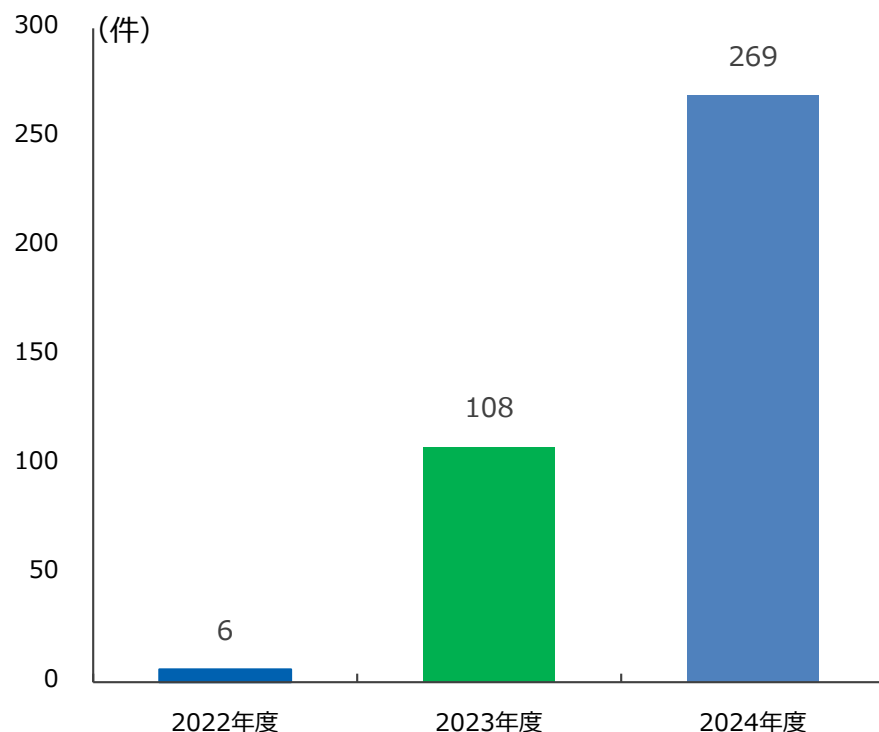
2 お客様本位のご提供と情報提供①

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、
原則6本文および(注1、2、3、4、5)】

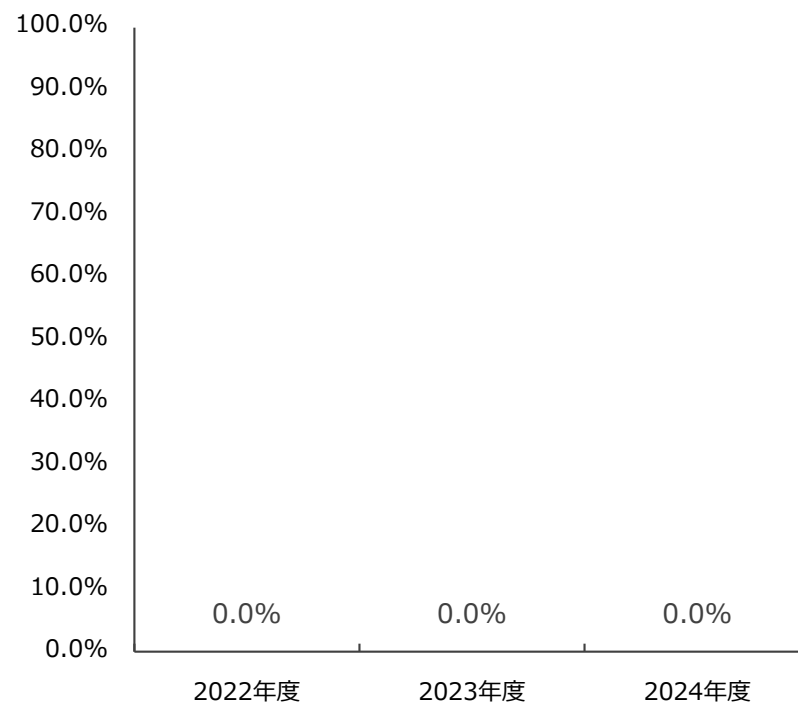
(1) 信用の事業活動

- 当組合では2023年10月から全支店で投信の取扱いを開始し、お客さまの属性・適合性を判断したうえで、税制優遇制度(NISA等)を利用した、長期・積立・分散投資の有用性を積極的にご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客さまが大幅に増加しました。
- なお、「毎月分配型ファンド」を選択されるお客さまはいませんでした。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



I. 取組状況

2 お客様本位のご提案と情報提供② (1) 信用の事業活動

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- お客さまの安定的な資産形成に資するため、お客さまのライフステージに応じた適切な商品が選択できるよう、「資産運用ガイドンス」「資産運用スタイル診断シート」等を活用し、お客さまのご意向・投資経験・リスク許容度等をご共有いただいたうえで、お客さまにふさわしい商品をご提案しております。
- また、2022年4月から重要情報シートを導入し、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすく説明しております。

資産運用ガイドンス

私たちのお金をとりまく環境

少子高齢化が進んでいます

少子高齢化が進み、1人の年金受給者を支える現役世代の人数は減っています。

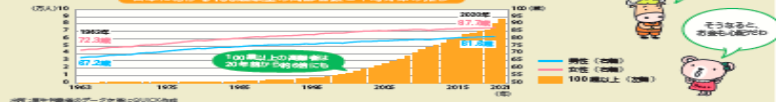
労働力人口は減る、高齢化率は上がっていく



人生100年時代はすぐそこに

医療技術の進歩や健康志向の高まりで、100歳まで人生が続くのが当たり前の時代を迎えつつあります。

日本における100歳以上の高齢者数と平均寿命の推移



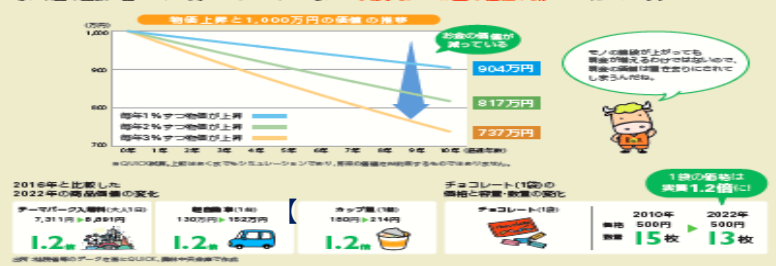
預貯金の低金利が続いています

かつては、預貯金をするだけでも、ある程度の利子がつきました。しかし、現在は低金利の時代が続いており、預貯金だけで資産を増やすことは難しくなっています。



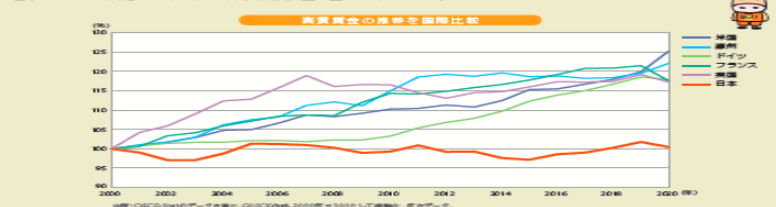
インフレは、お金の価値を減らします

「インフレ」とはモノの値段（物価）が上がることをいいます。物価が上がると、ある金額で買ったモノがそれ以上の金額を出さないと買えなくなってしまうため、**実質的にはお金の価値が減ることになります。**



各国と比べて賃金が上がっていない日本

「実質賃金」とは、労働者が受け取った給与（名目賃金）から、物価変動の影響を加味したものです。2000年と2020年を比べると米国が約25%、欧州が約22%、ドイツが約18%上昇しましたが、日本はほとんど変化がなくてこの20年間で実質賃金は上がっていません。



I.取組状況

2 お客様本位のご提案と情報提供③

(2) 共済の事業活動 【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- ・ 保障の提案にあたっては、お客さまのニーズを踏まえたうえで、保障設計書を用いて各種共済の情報や掛金のお見積りなどの情報を提供し、最適な保険設計のお手伝いをさせていただきます。
- ・ ご契約の締結にあたっての重要事項や注意事項について説明するとともに、タブレット端末機「Lablet's」を活用し、ご提案した内容がお客さまの意向に沿った内容となっているか契約申込前に改めて確認しております。
- ・ 高齢者のお客さまに説明する際は、ご家族も含め十分に納得、ご満足いただけるよう、提案説明時、契約締結時には原則としてご家族に同席をいただいております。
- ・ ご加入後も、3 Q活動を通じてお客さまへ定期的なフォロー活動を行い、近況確認や共済金の請求忘れの確認をするなど、組合員・利用者の皆様に寄り添った活動を実施しております。
- ・ ご契約にあたり、共済掛金の他にお客さまにご負担いただく手数料等はありません。

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

営業部門から独立した総務部を設定のうえ、お客さまへの商品選定や保障提供、情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理しており、利益相反の発生する可能性のある取引については定期的にモニタリングを実施しております。

4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

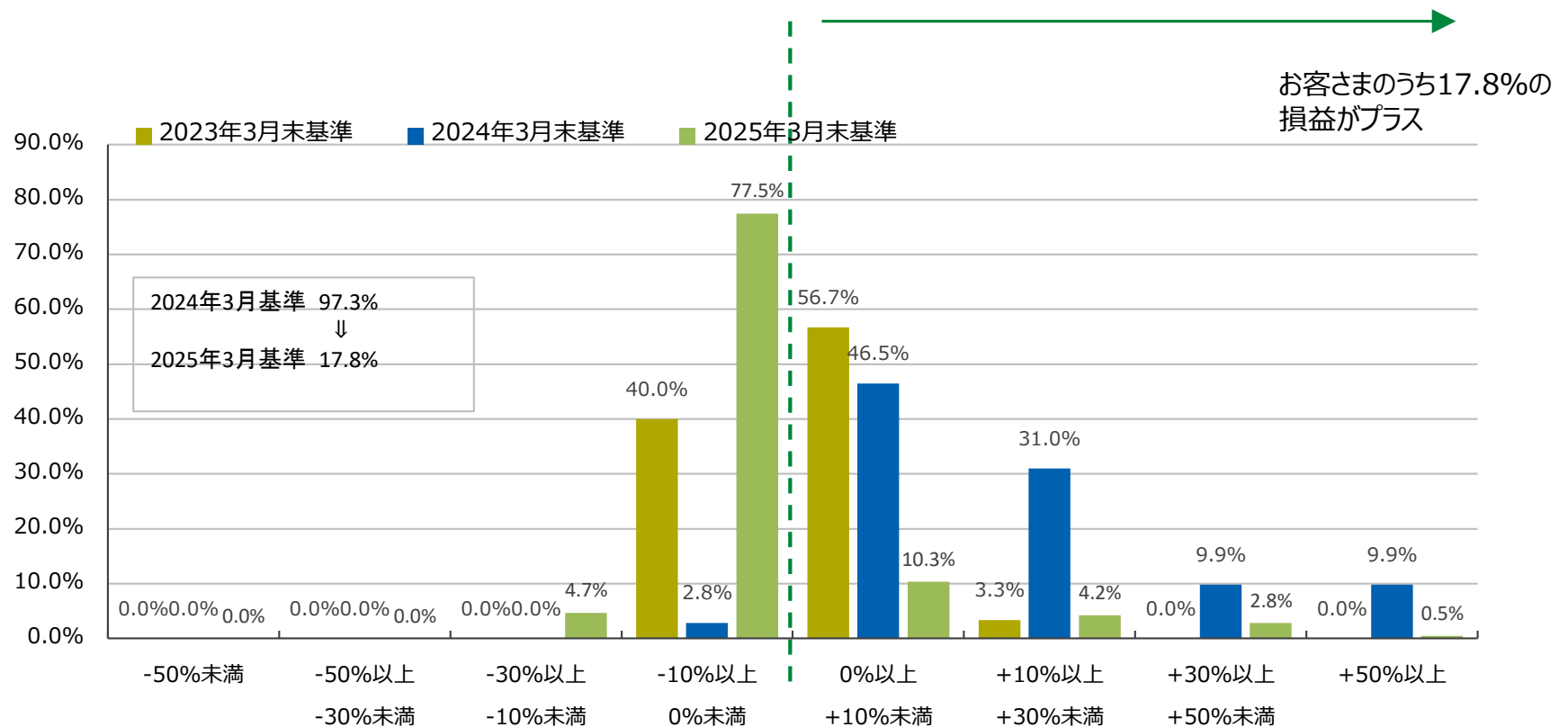
【原則2本文および(注)、原則6(注5)、原則7本文および(注)】

適切な金融サービスを提供できるようLPC（ライフプランコンサルタント）を配置し、併せてFP技能士等の資格取得支援を通じて専門性を有した誠実・公正な業務を行うことのできる人材を育成するため、各種研修や勉強会を通じて理解浸透を図るとともに、お客さまに最適な共済仕組み・サービスを提供できるよう、継続的に職員育成を行う態勢を構築しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では全体の17.8%のお客さまの損益がプラスとなりました。

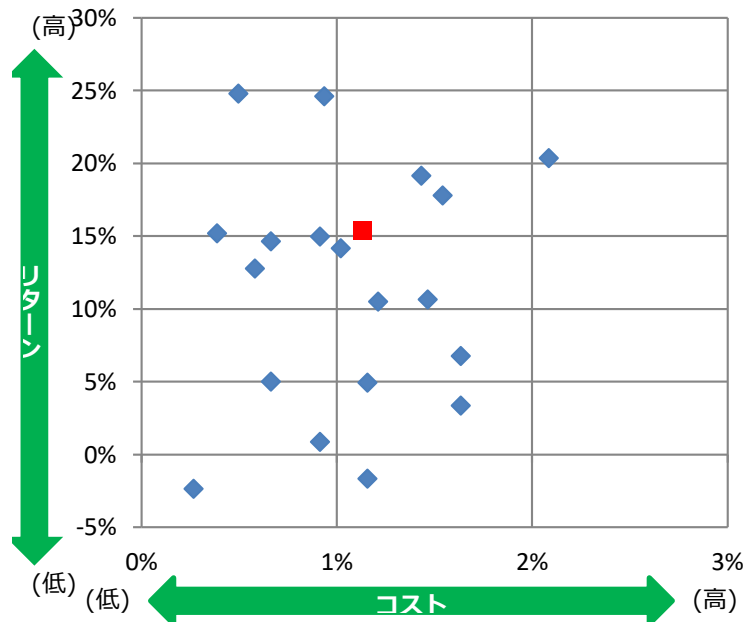


Ⅱ.比較可能な共通 K P I

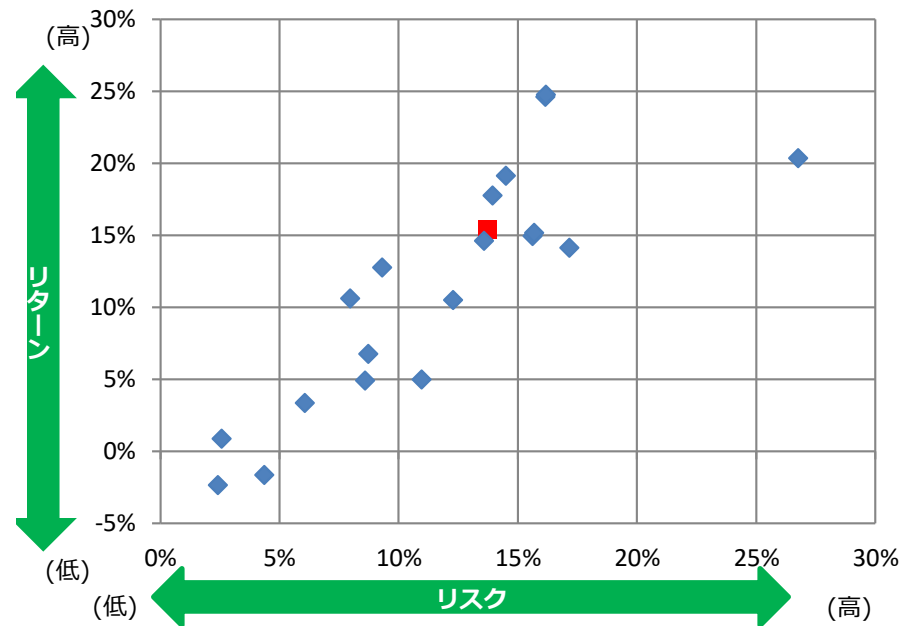
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.14%、平均リスク13.76%に対して、平均リターンは15.36%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、11ページに記載しております。

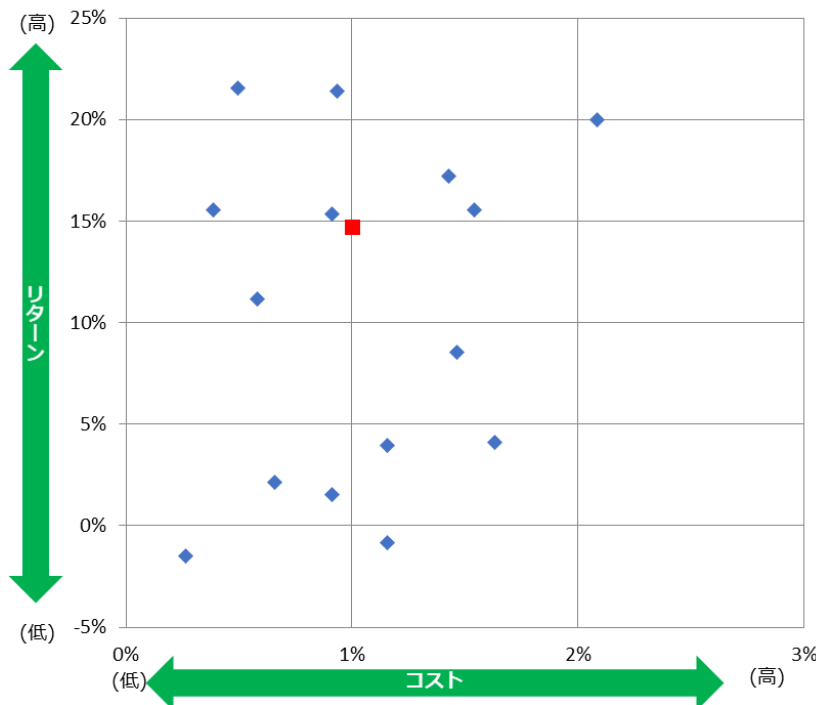
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

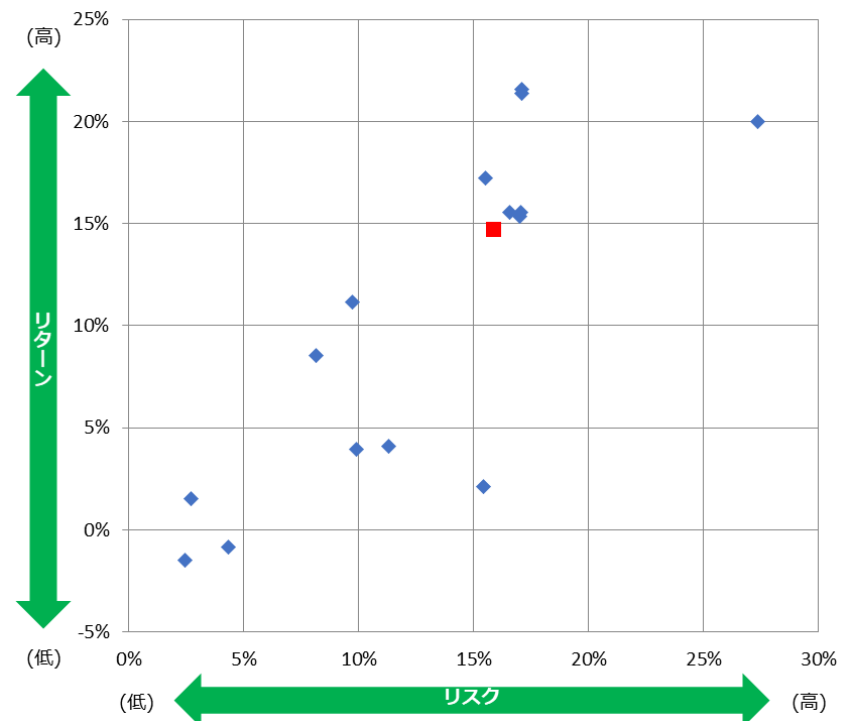
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.00%、平均リスク15.86%に対して、平均リターンは14.71%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



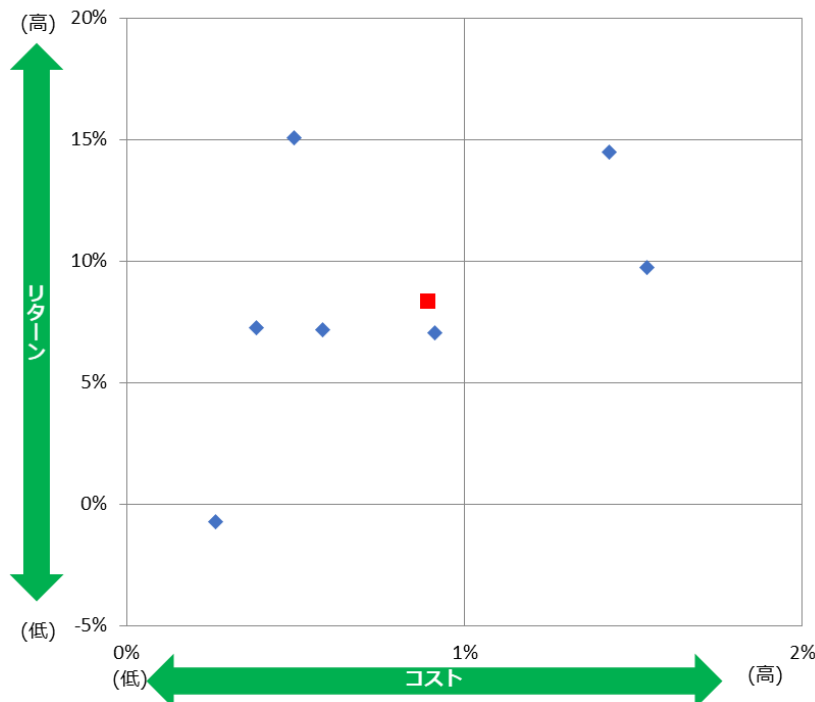
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、12ページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

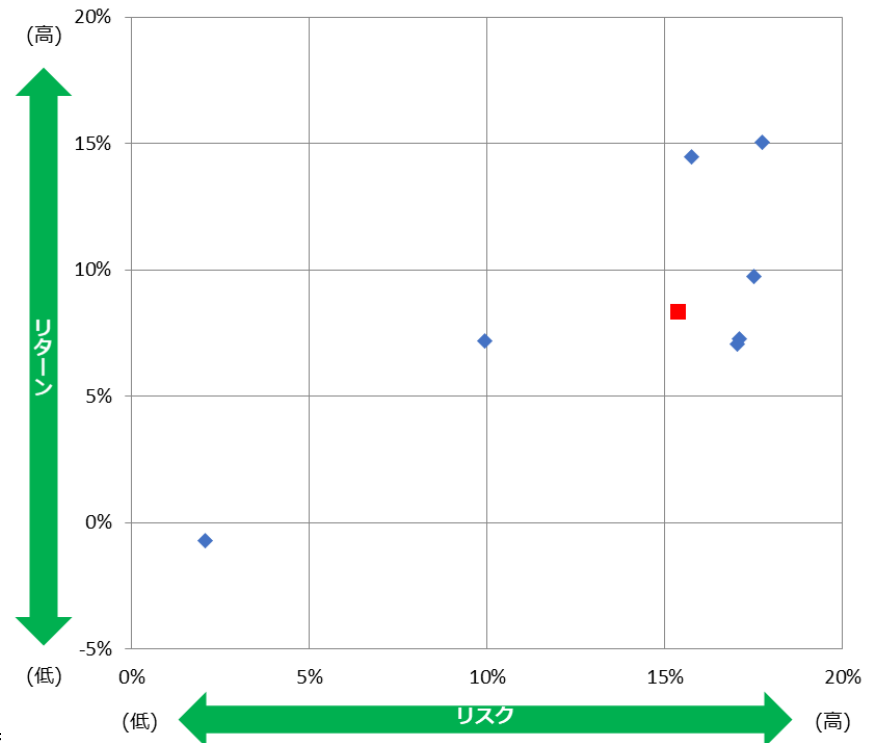
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.89%、平均リスク15.38%に対して、平均リターンは8.35%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、13ページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2025年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.62%	16.15%	0.94%
2	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	3.35%	6.05%	1.63%
3	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.96%	15.62%	0.91%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	19.14%	14.48%	1.43%
5	おおぶねグローバル(長期厳選)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	14.63%	13.58%	0.66%
6	おおぶね J A P A N (日本選抜)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	10.52%	12.27%	1.21%
7	ペイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	20.35%	26.74%	2.08%
8	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
9	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.19%	15.67%	0.39%
10	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
11	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-2.36%	2.41%	0.26%
12	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
13	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	17.77%	13.93%	1.54%
14	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.66%	4.34%	1.16%
15	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.93%	8.59%	1.16%
16	グローバル・リート・インデックスファンド(資産形成型) 世界のやどかり	大和アセットマネジメント(株)	14.15%	17.14%	1.02%
17	グローバル・インカムフルコース(為替ヘッジなし)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	10.63%	7.96%	1.46%
18	J - R E I T インデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.99%	10.96%	0.66%
19	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	0.87%	2.57%	0.91%
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		15.36%	13.76%	1.14%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は19本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.34%	17.00%	0.91%
2	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	21.40%	17.11%	0.94%
3	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	17.22%	15.52%	1.43%
4	バイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント（株）	19.98%	27.37%	2.08%
5	つみたてNISA米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	21.55%	17.11%	0.50%
6	J－REITインデックス（年1回決算型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	2.14%	15.44%	0.66%
7	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.57%	17.06%	0.39%
8	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	11.15%	9.72%	0.58%
9	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-1.47%	2.46%	0.26%
10	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	15.53%	16.54%	1.54%
11	HSBC世界資産選抜 育てるJーS(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
12	グローバル・インカムフルコース（為替ヘッジなし）	三菱UFJアセットマネジメント（株）	8.56%	8.16%	1.46%
13	日米6資産分散ファンド（資産形成コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	3.95%	9.89%	1.16%
14	日米6資産分散ファンド（安定運用コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-0.86%	4.33%	1.16%
15	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne（株）	1.52%	2.73%	0.91%
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		14.71%	15.86%	1.00%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は15本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
2	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
3	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
4	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.72%	2.06%	0.26%
5	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
6	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
7	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		8.35%	15.38%	0.89%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は7本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。